

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : 消火器用消火薬剤 強化液(中性) 薬第 24～2 号
整理番号 : WA-LSN-007(4)
会社名 : 日本ドライケミカル株式会社
住所 : 〒114-0014 東京都北区田端 6-1-1 田端 ASUKA タワー
担当部門 : 技術本部
電話番号・FAX : TEL 03-5815-5025 FAX 03-3822-9770

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	皮膚腐食性/経口	区分 4
	皮膚腐食性/刺激性	区分 1C
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
	生殖毒性	区分 1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1 (呼吸器系、心臓、腎臓、中枢神経系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1 (呼吸器系、心臓、中枢神経系)

上記以外の項目については、区分に該当しない、又は分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な目の損傷
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害(呼吸器系、心臓、腎臓、中枢神経系)
長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系、心臓、中枢神経系)

注意書き

安全対策

:
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。
取扱後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急処置

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合
医師の診断/手当を受けること。

保管多湿を避け、使用温度範囲内に保ち屋内に(可能なら)施錠して保管すること。

廃棄内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し
廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分:混合物

化学名	含有率(%)	CAS No.
エチレングリコール	20〜25	107-21-1
アンモニア化合物	1〜30	あり
炭化水素系界面活性剤	1〜1.5	あり
フッ素系界面活性剤	0.5 以下	あり

4. 応急措置

吸入した場合 : 気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる
場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理にはかせないこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 本製品は消火剤であり不燃性である

使ってはならない消火剤 : 本製品は消火剤であり不燃性である

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域とし隔離すること。

関係者以外の立ち入りを禁止すること。

作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止および保護措置」の項を参照)を着用し、
眼、皮膚への接触や吸入を避けること。

適切な防護衣をつけていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

風上にとどまること。

低地からはなれること。

密閉された場所は換気すること。

環境に対する注意事項

: 薬剤及び洗浄に使用した水が、下水/河川等に流出し、環境への影響を起こさないようにする。

収集物は産業廃棄物として処理すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: 飛散したものを掃き集め、密閉できる容器に回収し、「13.廃棄上の注意」の記載に従って廃棄すること。

その後、多量の水で洗い流すこと。この場合、濃厚な廃液が河川などに流出しないよう注意すること。

二次災害の防止策

: 漏洩物はすみやかに回収すること。

漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止すること。

万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	:「8. ばく露防止および保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項	:特になし。
衛生対策	:取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	:多湿を避け、使用温度範囲内に保ち屋内に(可能なら)施錠して保管する事。
容器包装材料	:製品容器、該当する消火器等。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具	呼吸器の保護具	:呼吸器保護具(マスク)
	手の保護具	:保護手袋(ゴム、ビニール等の材質のもの)
	眼の保護具	:保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	:保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	:液体
色	:淡黄色透明
臭い	:特有臭
融点/凝固点	: -20.5°C 以下
沸点又は初留点及び沸点範囲	:データなし
可燃性	:なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	:なし
引火点	:なし
自然発火点	:データなし
分解温度	:データなし
pH	:7.8(20 $^{\circ}\text{C}$)
動粘性率	:データなし
溶解度	:水に易溶
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	:データなし
蒸気圧	:データなし
密度及び/又は相対密度(比重)	:1.12(20 $^{\circ}\text{C}$)
相対ガス密度	:データなし
粒子特性	:なし

10. 安定性及び反応性

反応性	:データなし
化学的安定性	:通常の取扱い条件下では安定
危険有害反応可能性	:通常の取扱い条件下では危険有害性反応なし
避けるべき条件	:データなし
混触危険物質	:データなし
危険有害な分解生成物	:HF(フッ化水素)、F ₂ (フッ素ガス)、フルオロカーบอนを生成する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性 経口	: 区分 4
経皮	: 区分に該当しない
吸入(ガス)	: 分類できない
(蒸気)	: 分類できない
(粉じんおよびミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 1C
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 1
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 区分 1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 1(呼吸器系、心臓、腎臓、中枢神経系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分 1(呼吸器系、心臓、中枢神経系)
誤えん有害性	: 区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 水生環境有害性 短期(急性)	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分に該当しない
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 分類できない
その他環境有害性	: BOD 3.5 × 10 ⁵ mg/L 計量法 JIS K 0102 21 : COD 2.1 × 10 ⁵ mg/L 計量法 JIS K 0102 21

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法規、地方自治体の基準に従って廃棄すること。都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理すること。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器・包装: 内容物を完全に除去した後に、残余廃棄物と同様、適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: 非該当 (消火器に充填した場合は UN1044)
品名	: 非該当 (消火器に充填した場合は 消火器)
国連分類	: 非該当 (消火器に充填した場合は 2.2)
容器等級	: 非該当
海洋汚染物質	: データなし
国内規制	: 陸上規制情報 消防法に従う : 航空規制情報 航空法に従う : 海上規制情報 船舶安全法に従う
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 : 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 : 容器が密栓されていることを確認する。

15. 適用法令

消防法	: 第 21 条の 2 第 2 項 「消火器用消火薬剤の技術上の規格を定める省令」自治省令第 28 号
労働安全衛生法	: 法第 57 条の 2(施行令第 18 条の 2)名称等を通知すべき有害物 エチレングリコール [No.75]
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当
航空法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 施行令第 2 条 アンモニア化合物
海洋汚染防止法	: 有害液体物質 Z 類物質

16. その他の情報

本安全データシート(SDS)は、JIS Z 7252/7253:2019 に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、弊社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保障するものではありません。